第3節 発展を支える交通ネットワークの充実

広域道路ネットワークの構築

●東九州自動車道・宇佐別府道路・大分空港道路

- ・東九州自動車道・宇佐別府道路の「宇佐IC~院内IC間」及び「大分宮河内IC~津久見 I C間」の一部について、平成31年4月に4車線化事業に着手されました。令和元年度は 早期整備を目指し、国等への要望活動を行います。
- ・大分空港道路については、日出IC~安岐IC間の一部区間で実施していた4車線区間の延 伸工事が、令和元年7月に完了しました。

●中九州横断道路

- ・「朝地IC~竹田IC」間が、平成31年1月に開通しました。
- ・「竹田~阿蘇」間は、平成31年4月に事業着手され、令和元年度は、早期開通を目指し、 国へ要望活動を行います。

●中津日田道路

- ・三光本耶馬渓道路(中津IC~田口IC間)が平成31年3月に開通しました。
- ・現在約24kmの区間(三光本耶馬渓道路(直轄権限代行)、耶馬溪道路、日田山国道路) で整備を推進しています。



【日煙指煙】

| 指標 | 基準値 | | H30年度 | | | R1年度 | R6年度 |
|--------------------------|-----|------|-------|------|--------|------|-------|
| 指 | 年度 | 基準値 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | 目標値 | 目標値 |
| 大分市中心部まで概ね60分で到着できる地域の割合 | H26 | 73 | 76 | 76 | 100.0% | 76 | 78 |
| 地域高規格道路整備延長 | H26 | 67km | 77km | 77km | 100.0% | 77km | 100km |

| | | 7 = 75 | / 1 |
|-----|---------------|--------|-----------------|
| 【指煙 | \mathcal{L} | ુ≅મ | 1Mh |

| 評価 | 理 由 等 |
|----|--|
| 達成 | 平成30年度は地域高規格道路の中九州横断道路(朝地IC~竹田IC)や中津日田道路(中津IC~田口IC)等の開通により、大分市中心部までの所要時間を改善した。 |

発展を支える交通ネットワークの充実

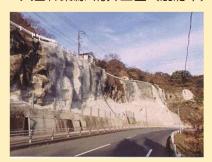
2 地域道路ネットワークの充実

●地域ネットワークの整備

- ・幹線道路は、渋滞や交通安全上等の課題の多い箇所、インターチェンジへのアクセス道路等の整備を進め、物流効率化や産業の発展、生活利便性の向上に寄与しています。また、合併新市中心と旧市町村中心を結ぶ道路等で、未改良で残された区間や港湾とインターチェンジを結ぶ道路等の整備を進めています。平成30年度は、大田杵築線溝井工区などの開通により、地域道路ネットワークの充実を図りました。
- ・異常気象時等においても地域間のネットワークを確保するため啓開ルート上ののり面崩壊対策を平成30年度は 国道502号など14路線21箇所で実施しました。



大田杵築線 溝井工区(別府市)



国道442号野津原工区(大分市)

●中山間地域等の生活道路

- ・既設の道路敷を利用した歩道拡幅 や側溝整備等の局所改善を平成3 0年度は県道野津宇目線等約10 8箇所で実施しました。
- ・災害時の通行止めにより、集落の 孤立が発生する可能性のある道路 について、道路のり面対策を推進 します。平成30年度は県道梶寄 浦佐伯線など5路線11箇所で実 施しました。

《歩道拡幅 実施事例》

県道 野津宇目線(臼杵市)





《道路のり面((落石)対策 実施事例》

県道 梶寄浦佐伯線(佐伯市)





【目標指標】

| 指標 | 基 | 基準値 | H30年度 R | | | R1年度 | R6年度 |
|---------------------------|-----|------------|---------|-----|-------|------|------|
| | 年度 | 基準値 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | 目標値 | 目標値 |
| 小規模集落から幹線道路へのアクセスを改善した集落数 | H26 | - | 71 | 58 | 81.7% | 90 | 144 |

【指標による評価】

| 評価 | 理 由 等 |
|-------|---|
| 達成不十分 | 埋蔵文化財調査や用地交渉の難航により、完成年度が延長し、改善した集落数が目標値を下回った。 |

発展を支える交通ネットワークの充実

3 海上輸送拠点の強化

●港湾機能の強化

○臼杵港

現在、八幡浜へのフェリーが1日14便の 過密ダイヤで運航しているとともに、港内で は大小様々な船舶が航行しています。

港湾機能の強化や船舶の安全な航行を確保するため、新フェリーターミナルの整備を 実施しています。



○佐賀関港

東九州自動車道の開通に伴う利用客の増加により、フェリーの駐車場が不足しています。フェリー利用者の利便性向上及び荷役の効率化を図るため、埠頭内の施設配置を見直し、船社によるフェリー上屋の建て替えと併せて、駐車場を整備します。



平成30年度実施 用地取得

●幹線道路と交通アクセスの向上

物流の効率化と共に港周辺の渋滞緩和、安全性の向上、沿道環境の改善に寄与するため臨港道路の整備を推進しています。



平成30年度実施(舗装)

延長 L=200m



平成 30 年度実施(改良) 延長 L=265m

【目標指標】

| 指標 | 基準値 | | H30年度 | | | R1年度 | R6年度 |
|------------|-----|-----|-------|------|--------|------|------|
| | 年度 | 基準値 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | 目標値 | 目標値 |
| 新規バースの整備延長 | H26 | _ | 130m | 130m | 100.0% | 130m | 260m |

【指標による評価】

| 評価 | 理 | 由 | 等 | |
|----|-------------------------|---|---|--|
| 達成 | 計画的な予算・工程管理を行い、目標を達成した。 | | | |